

5. 災害調査 (13)新潟県長岡市栃尾地区雪崩調査(2013. 2. 25-26)

| | | | |
|-------|---------------------|------|----------|
| 研究代表者 | 雪氷防災：上石 勲 | 実施期間 | 平成 24 年度 |
| 研究参加者 | 雪氷防災：山口 悟、安達 聖、本吉弘岐 | | |

[目 的]

2013年2月25日、新潟県長岡市栃尾地区で大規模雪崩が発生し、道路を埋設した。新潟県道路管理課ならびに長岡地域振興局長岡地域整備部より調査の依頼があり、現地踏査ならびにへりからの雪崩発生状況調査、積雪調査を実施した。

[実施内容]

調査実施日：2013年2月25, 26日

調査箇所：新潟県栃尾地区(図1)

[成果と効果]

調査により雪崩発生状況や積雪状況などについて把握した(図2)。

- ・雪崩発生日時：2013年2月24日 18:32 (新潟県資料)
- ・雪崩種類：面発生湿雪全層雪崩
- ・雪崩規模：長さ約1500m、幅約50m
- ・発生面での傾斜：約40~45度
- ・雪崩発生状況

県道脇の斜面から湿雪全層雪崩が発生し道路を幅55mにわたって埋めた。現地では警察、消防による捜索と除雪を並行して実施し、約9時間で規制が解除された。

2月25日にはへりからの調査によって、発生斜面の積雪はほぼ落ちていることが確認されたが、一部残っているため、道路脇に雪堤を構築した上で全面通行解除とすることとした。

また、発生箇所とほぼ同標高の防災科研栃尾気象観測点の近隣で断面観測を実施し、現地の積雪は約4mであったことが想定された。また、発生区と同標高の田代地区での断面観測から、積雪底面がぬれたざらめ雪であったことも確認された。雪崩が発生した日は30cm以上の降雪が続いており、雪崩の発生原因については今後解析が必要である。



図1 雪崩発生ならびに流下状況



図2 長岡市栃尾地区における全層雪崩発生と積雪観測状況(栃尾田代)

[行政機関等への貢献]

雪崩発生状況については新潟県長岡地域整備部からの情報を頂いた。今回の現地調査を同時に行い、今後の対策についてのアドバイスをを行った。